

2008.3.27

美濃国を訪ねて

万葉集学外授業(梅花女子大 市瀬雅之先生)



関ヶ原到着



現在の美濃国分寺
本尊の薬師如来は旧美濃国分寺
のもので高さ3m、国の重文



整備されている
国分寺跡図



美濃国分寺跡

美濃国分寺は国府、府中に近い青野ヶ原
東西230m、南北205m 金堂院式の七堂大伽藍

◎大垣市
歴史民族資料館
美濃国分寺資料館



南大門跡 中門跡↑



伊吹山↓



七重の塔心礎石



先生と、
話し足りなげな館長さん



まだ雪が残る伊吹山



養老公園着



濃尾平野が広がる



河東碧梧桐句碑を
過ぎて由緒ある宿
千歳楼の庭の歌碑に至る

← 養老孝子伝説源丞内の墓を過ぎ



← 養老寺・瀧守護不動尊を過ぎ

← ひたすら歩く

← 聖武天皇巡行遺跡

大伴東人
古ゆ人の言ひくる老人の
をつとふ水ぞ 名に負ふ瀧の瀬
大伴家持
田跡川の 滝を清みか古ゆ
宮仕へけむ 多芸の野の上に

家持は
滝を見て
元正天皇が行幸
された昔を
しのんでいます

巡行中
妹のことも
よく詠んで
います



元正太上天皇
ほととぎす
なほも啼かなむもつ人
かけつともな吾を哭し泣くも



元正天皇歌碑に向かう みつまた満開





先生のご厚意で昼短縮して
養老神社へ。(無料オプションツアー)



満開の山桜も



養老神社の下で水を汲む人



養老神社

不破の関資料館から
歩いて見学コースを
巡る



不破の関資料館



桃も満開



土筆

滝から流れる川の側でお昼



神社の右に
養老の滝 菊水泉
謡曲「養老」にも



大海人王子の
杵脱石と兜掛石の案内



兜掛石



不破の関守跡

関の藤川より大木戸坂を登り切った
辺り一帯が関守の屋敷跡
たくさんの歌碑句碑あり



杵脱石の傍に沈丁花



民家の裏の畑の中 菜の花が咲いていた

陣羽織のボランティアの人
自害峰を見上げる



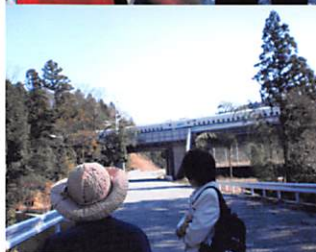
←弘文天皇御陵候補地
自害峰三本杉150m5分



関の藤川(藤古川)源は伊吹山麓
壬申の乱では両軍が川を挟んで開戦
関ヶ原合戦では上流右岸に
大谷吉継が布陣



不破の関は藤古川を西限として
この辺り(大木戸)に西城門があった
自然の要害を利用して



自害峰、黒血川のそばを
新幹線が走る



自害峰三本杉◎



皇子を慰めるように
ひっそりと坂道に
咲いていた猩猩袴
(しょうじょうばかま)

資料館に入り壬申の乱図
他を見て関ヶ原を
後にしました

